

若年女性を取り巻く現状

特定非営利活動法人BONDプロジェクト



2006年「VOICES MAGAZINE」始動、2009年 NPO 設立

聴く。

ありのままの声を聴き表現できる場を作る。

LINE 相談、メール相談、電話相談、面接相談、
bond@ あらかわ相談室、ネットパトロール、街頭パトロール、アンケート、
カフェ型移動相談

伝える。

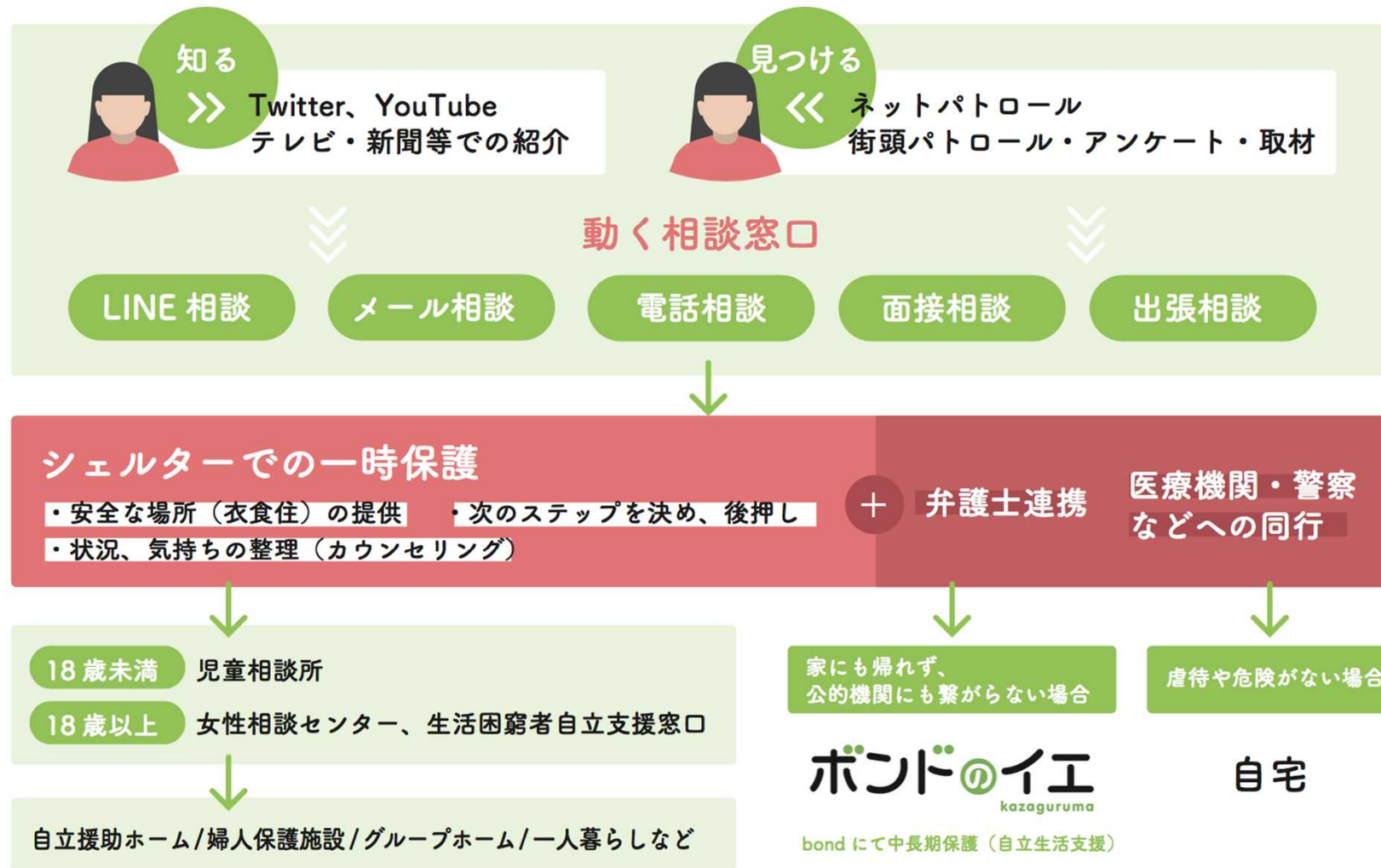
女の子の声を知ってもらう。

フリーペーパー「VOICES MAGAZINE」発行、講演会・啓発活動、
10代20代女性を対象としたイベント、
渋谷のラジオパーソナリティー「渋谷の漂流少女たち」

繋げる。

一人一人に見合った支援、大人に繋ぐ。

弁護士と連携し、他専門機関へ繋ぐ
一時保護、同行支援
中長期保護（自立生活支援）



2020年 相談件数

2020年1月-12月

(述べて件数)

LINE		メール	電話	面談	保護	同行支援
アクセス件数	対応件数	10,444	1,484	1,066	959	48
45,829	19,786					

相談・支援体制

メール 24時間受付

LINE **SNS相談事業** 週5回 各8時間・**神奈川相談室** 週3回

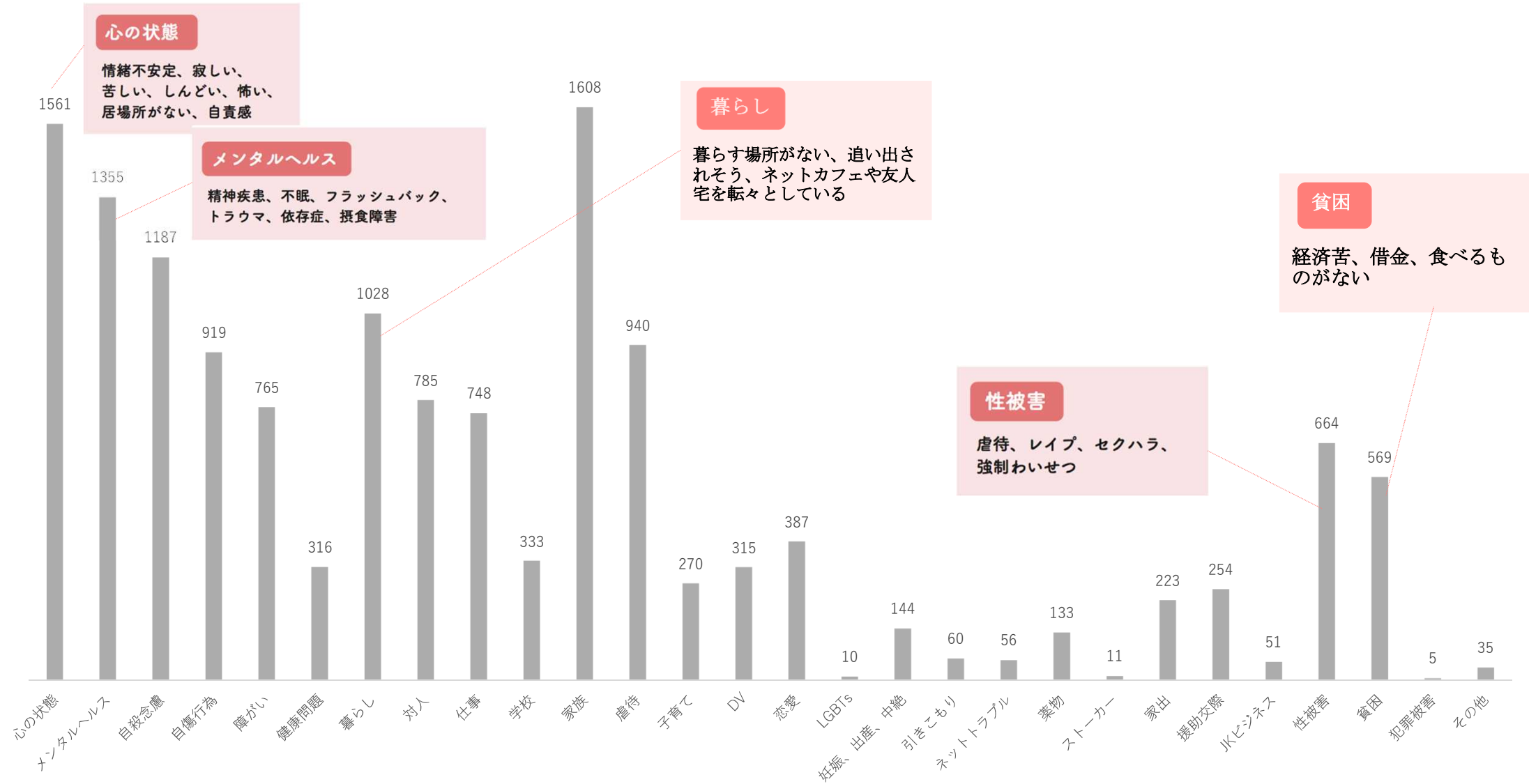
電話 **電話相談事業** 週2回 各3時間・**神奈川相談室** 週3回・その他聞き取り 随時

面談 **bond本部** 随時・**神奈川相談室** 週3回

同行支援 福祉事務所、病院、警察、児童相談所、婦人相談、各種手続きなど

他機関連携 警察、弁護士、女性相談センター、婦人相談所、福祉事務所（保健師、ワーカー等含む）、社会協議福祉会、地域活動支援センター、自立援助ホーム、こどもシェルター、産婦人科、就労支援センター、その他民間支援団体

問題の背景 (複数回答) 2020.4-2020.12 面談・オンライン面談・電話相談より



bond Project@かながわ –10代20代女の子のためのカフェ型相談室–

相談のきっかけ作り・気軽に立ち寄れる居場所・コロナ時代の対面相談や居場所の必要性



●●●毎週水・金・日曜日 13:00～21:00 ●●●

・カフェ型の居場所

オープン時間内で面談、電話、LINE、メール相談の対応
「相談」することのハードルが高く、相談窓口に辿り着けない。
困難を抱えていても「今」はまだ、相談することまで望んでいない。

・街頭パトロール、声かけ

横浜、川崎、関内駅周辺
相談カードの手渡し

・シェルターでの緊急一時保護

弁護士、児相との連携
すぐ、その日に行ける場所

・同行支援

児童相談所、福祉事務所、病院、警察、
役所、ハローワーク、各種手続き等

公的支援に繋がれない、制度に辿り着けない女の子たち。

- ・次に繋がらないまま18歳になり児童福祉法による支援が終了
- ・学校には通えているが虐待家庭にあり居場所のない大学生

>> 行く場所がない、お金がない、自立準備のための拠点がないため、居場所はネットカフェ、公園、SNSで知り合った男性宅、カラオケ、ネットカフェ。



このおうちで女の子に提供するもの

- ① 安心できる生活（衣食住）
- ② 生活習慣の獲得（料理・洗濯・掃除・お風呂の入り方・食べ方）
- ③ 心のケア（ボンドスタッフとの会話・面談、臨床心理士によるカウンセリング、共同生活者との関係づくり）
- ④ つながりを増やす（必要に応じて他の支援機関や自助グループなどの紹介）
- ⑤ 自立へのサポート（仕事を探す、自立までの計画を一緒に立てる、家探しなど自立準備の補助）

いろんな経験や繋がりを自分のものにし、自分の足で立つ力を後押ししたい。

- ▶ 2019.4～2020.3 短期 23 中長期 4
- ▶ 2020.4～2020.12現在 短期 9 中長期 6

ボンドのイエ 2

kozaguruma

(シェルター)

ボンドのイエより回復傾向にあり、就労できる状態になったものの、まだ一人暮らしをするには金銭的にも体力的にも難しい女性の支援を行うためのシェルター。



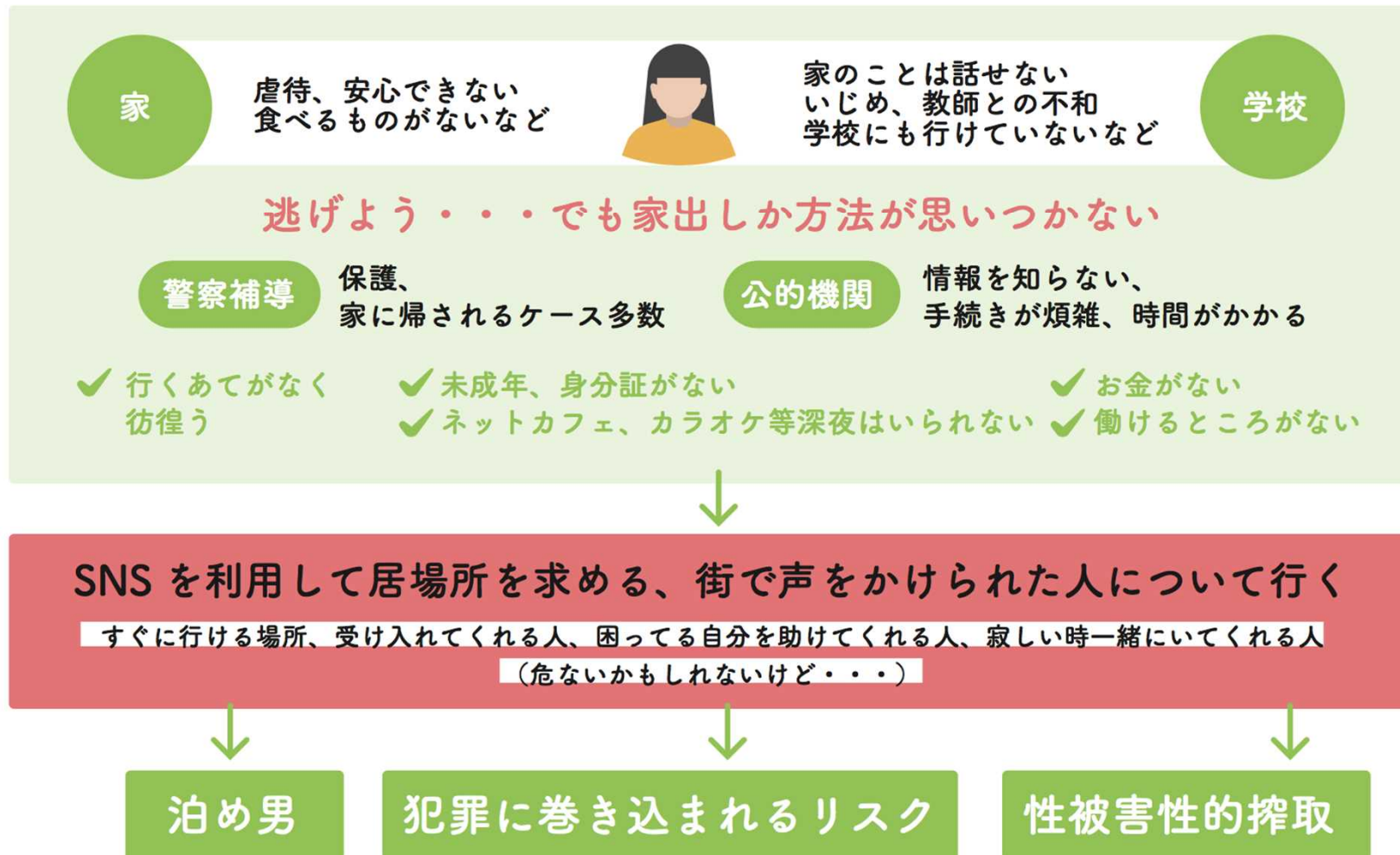
ボンドのイエ ANNEX

kozaguruma

(ステップハウス)

一人暮らし型のステップハウス。シェルターほどの支援は必要ないが、家事、薬、金銭管理等が難しく、すぐの一人暮らしが困難な場合に、シェルターの次段階として利用できる。一人暮らしの練習とし、見守り支援を実施。





2017年10月 神奈川県座間市のアパート内で9人の遺体が見つかった事件。

被害に遭った10代20代だった女性たちとの接点は、交流サイト（SNS）。女性たちが自殺をほのめかすような投稿をしたところ、協力するふりを装って接近したとされる。

被害女性において、BONDプロジェクトにくる相談者にとっても近い印象を受けた。

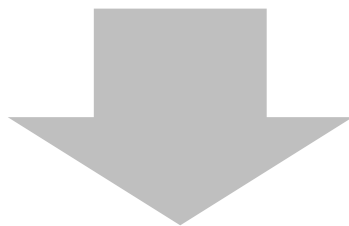
身近な人に悩みや本音を言うことができず、ネット上に居場所を求めている。

SNSが大事な居場所になっている反面、



弱みにつけこまれ、犯罪被害に遭ってしまうケースは少なくない。

「表向きの顔」ではなく、身近な人には言えない本音を伝えてくれている”対象者”と
当団体の関係性だからこそ聞くことのできる声があると感じ、
「**身近な人には言えない**」→「**ネットを主に居場所を求める**」対象者に重点を当てた。



10代20代女性へSNS意識調査を実施

自殺願望SNS投稿の実態（当事者たちの声）

座間 9 遺体事件を受け、10代20代女性へSNS意識調査を実施【100人の回答結果報告】

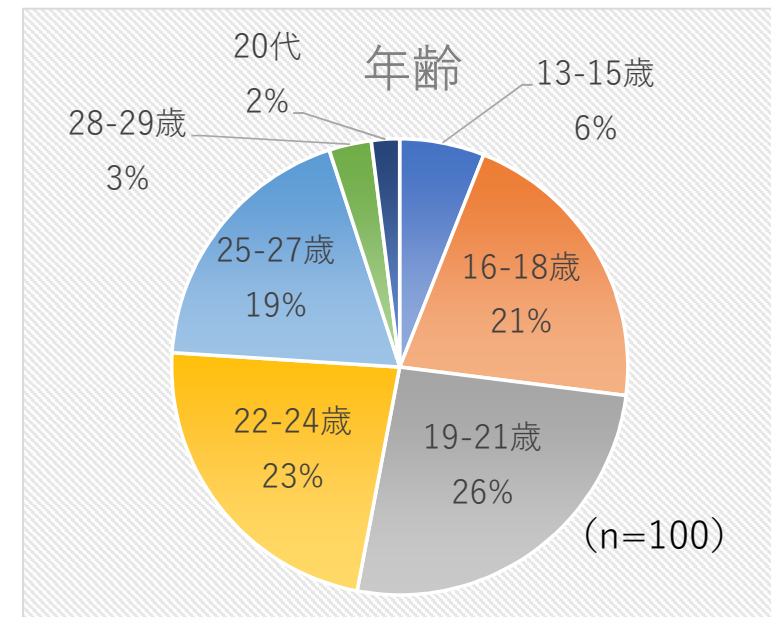
2017年12月21日

■対象：BONDプロジェクトに声を寄せる10代20代女性

■実施方法：対象者約1,000人にメールを送信、メールで回答を求めた。

■アンケート項目

- ① なぜ、女の子たちはSNSに「死にたい」とつぶやくと思いますか？
- ② SNSに実際に「死にたい」とつぶやいたことはありますか？
- ③ SNSで知らない相手と繋がって、やりとりをしたことがありますか。
- ④ 「③」である方と答えた方は、その理由も教えてください。
どんな気持ちからだったのかを、教えてください。
- ⑤ 裏垢、病み垢など、アカウントを使い分けて、リアルでは言えない悩みや本音をつぶやいたことはありますか？
- ⑥ Twitter他SNSでは不特定多数にコメントが見られてしまうけれど、それに対しての不安などはないですか？
- ⑦ ある方はその理由を書いてください！。
- ⑧ 今回の座間の事件を受けてどう感じましたか。
- ⑨ 現状を変えていくには、私たち大人はどうすればよいと思いますか。
- ⑩ 死にたい、消えたい気持ちはどうしたら無くなると思いますか？意見があれば自由に書いてください。



① なぜ、女の子たちはSNSに死にたいとつぶやくと思いますか？

- ▼現実で寂しいから。誰かに**存在をわかってほしいし認めてほしい**から。(23歳)
- ▼現実では言えないから。口に出して死にたいってなかなか言えない。**メールやLINE、SNSなら言える**。(23歳)
- ▼現実でそんなこと言うと周りにバカにされたり相手にされなかったりする事が怖い、**話をできる人がいない**から。(23歳)
- ▼同じ死にたい気持ちを持ってると**気持ちを分かり合いたい**みたいな感じ。(19歳)
- ▼リアルで**話せる場所がない**から。**身近な人には話しにくい**。(25歳)
- ▼死にたいということはいけないことと思っていたり、死にたいと誰かに話したら**拒絶される**、おかしいと思われるなど、ネガティブな印象を抱いてしまったりするため、**SNSでしか言えない**。SNSでつぶやけば見たい人だけが見てコメントしたい人だけがしてくれる、見ず知らずの人になら悩みも話せると考えている。(25歳)
- ▼誰かに**止めてほしい**かつつぶやく事で**自分の気持ちを落ち着かせる**ため(17歳)
- ▼リアルだと死にたいなんて言う**キャラじゃない**から。世の中には死にたいって言って受け入れてくれる人ばかりじゃない。**必死に笑顔作って空気読んで築き上げてきた自分の居場所を失う**かもしれないリスクは負えない(23歳)
- ▼日常では**仮面を被って頑張**ってて、周りから見たら**普通の子**が声にならない気持ちを発しているんだと思う(19歳)
- ▼自分の暗い気持ちをつぶやくことで、気持ちが少し軽くなったり、誰かに届いて返信がこないか少しだけ期待している。(16歳)
- ▼私は死にたい気持ちを持っている人と**気持ちをわかり合いたい**みたいな感じ。(19歳)

② SNSに実際に「死にたい」とつぶやいたことはありますか？

ある 68%

③ 知らない相手と繋がってやりとりしたことがありますか？

ある 61%

⑤ 「裏垢」「病み垢」など、アカウントを使い分けてリアルでは言えない悩みや本音をつぶやいたことはありますか？

ある 66%

⑥ Twitter 他SNSでは不特定多数にコメントが見られてしまうが、それに対しての不安などはないですか？

ない 53%

⑧ 今回の座間の事件を受けて、どう感じましたか？

- ▼座間市の事件、私も10人目になっていたかもしれない。(16歳)
- ▼表面的にはふつうな子が、学校や親には言えない、つらい死にたいくらいの気持ちをSNSなら呟けていたんだと思います。(25歳)
- ▼死にたいっていうほどツライ日々を送ってたら、危険から自分の身を守るって思考が薄れると思う。(23歳)
- ▼ネットでの繋がり全てを否定しないでほしい。そうするしかない背景や、そうしてでももがき苦しんで生きてる人がいることをもっと知ってほしい。(25歳)
- ▼病み垢は頻繁に使ってたから、怖くなった。(18歳)

⑨現状を変えていくには、私たち大人はどうすればよいと思いますか？

- ▼死にたいっていうのは助けてってこと。助けてなんてなかなか言えないから死にたいって言ってしまう。気にかけてくれて、声かけられるだけでも本人は嬉しいと思う。(23歳)
- ▼そばにいて欲しい。現状を変えてとまでは言わないけど、途中でいなくならないで…(16歳)
- ▼一対一でずっと向き合ってくれるような人が現れない限り、死にたい人を救う事は不可能だと思います。(28歳)
- ▼相談員とか身近な感じだったらいいかな。学校や役所にしかないし、気軽に相談できる環境も作ってほしい。(18歳)
- ▼相談できる場所を作ってあげる、優しく話を聞いてくれる、逃げてもいいって教えてくれる、そんな風にしてくれたら、私だったらとっても救われる。(19歳)
- ▼他者と他者が関わり合える安全な場所、環境がもっと増えれば、また少し違うと思う。(23歳)
- ▼本気で向き合ってくれる人がほしい。(17歳)
- ▼親以外に話せる大人がほしい。すぐに親に言ったり、連絡するのではなく子供との約束も聞いてほしい。(17歳)
- ▼同じ境遇の人を集めて話をしてみるのも共感が得ていいかもしれない。(19歳)
- ▼知ろうとする気持ちを持ってくれたら嬉しい。死にたいと思ってる子は案外身近にいます。(19歳)

⑩ 「死にたい」「消えたい」気持ちは、どうしたら無くなると思いますか？

- ▼ **居場所**があって、誰かが認めてくれたら。自分を認められたら。(17歳)
- ▼ ネガティブな感情を持ったときに話を聞いてくれる人がいるのが大事。(28歳)
- ▼ 自分にとって良いと思える人や、**信用できる人**を見つけられると、生きやすくなるのかも。(20歳)
- ▼ 無くなるのは難しいと思う。だけど、**認めてくれる人**が一人でもいたら、気持ちは救われる。(25歳)
- ▼ お互いに受け入れられる人間関係を築けたら、だと思います。(19歳)
- ▼ **自分の役割**や**存在意義**が見出せたら緩和されると思う。誰かに必要とされるとか認められるとか。(24歳)
- ▼ 自分は一人だ、**孤独**だと思わない環境なら、死にたい、消えたいと思わないかな？(24歳)
- ▼ 逃げても良いよっていうこと。生きる意味を持つこと。そのために**一緒に探す人**を持つこと。
本当の気持ちを吐き出せる場所を作ること。(中学生)
- ▼ リアルが充実してれば無くなるかな。でも完全に無くなるのは難しいと思う。(24歳)
- ▼ **安心できる何か**が一つでもゲットできたら完全に無くなることはないかもしれないけど、少しは和らぐんじゃないかと思う(17歳)
- ▼ 何かあった時に**いつでも行ける場所**があったら少し楽になれる(17歳)
- ▼ **どんなに小さな事でも**話せる場所があると少しずつでも安定して行って、いろんな意欲も出てきて、死にたい気持ちも消えるのかなって思う(17歳)
- ▼ 無くすことを考えない。**そういう気持ちと共存**するのがベストなのかなと思う。(20代)

「SNSで死にたいとつぶやいた」68%

安全な居場所

つくりたい

女性支援団体調査

困難や生きづらさを抱えた10代20代の女性を支援するNPO団体「BONDプロジェクト」は21日、インターネットのSNSで「死にたい」などと書き込んだことがあるかなどを聞いたアンケートを発表しました。

座間10人目に

アンケートは、神奈川県座間市で9人の遺体が発見された痛ましい事件を受け、「BOND」に相談した



記者会見する「BONDプロジェクト」のメンバー＝21日、厚生労働省

ことのある女性にメールで呼びかけたもの。1000人に呼びかけ、13日までに100人が回答しました。事件は、ツイッターで「死にたい」など書き込んだ女性が狙われました。

「SNSで死にたいとつぶやいたことがありますか」には68%が「ある」と回答し、「知らない相手と繋(つな)がってやりとりしたことがありますか」には61%が「ある」と答えました。その時の気持ちとして、「誰かと繋がりたい」というのが一番の理由だった。「共感が得られるだけで一人じゃないって思えた」などがありました。

「座間の事件を受けてどう感じたか」には、「自分も10人目になっていたかもしれない」などの声が寄せられました。

ネットパトを

代表の橋ジュンさんは「身近な人には言えない『寂しい』という気持ちや孤独が見えた。SNSで『死にたい』とつぶやいても危険な目に遭わない安全な居場所づくりが求められている」と述べ、「死にたい」という書き込みを発見したら言葉をかける「ネットパトロール」の仕組みが必要だと強調しました。

支援団体に回答の68%

神奈川県座間市で九人の遺体が見つかった事件を受け、若い女性らを支援するNPO法人「BONDプロジェクト」(東京)が二十一日、十〜二十代の女性に会員制交流サイト(SNS)の使用状況などをアンケートした結果を公表した。「死にたい」と書き込んだことのある人が68%に上った。

事件では、白石隆浩容疑者もあつた。

(三)がSNSで自殺願望を偽ったことが、将来を悲観した被害者との接点になったとされている。アンケートは事件発覚後の十一月、BONDに相談したことがある女性千人にメールで実施。今月十三日までに、百件の回答が寄せられた。

「死にたい」と投稿した人のうち、「話を聞いてほしいか」(二十二歳)と共感を求める声が多かった。「危ないけど、一人で耐える方がつらかった」(二十二歳)と、複雑な思いをにじませる回答

「死にたい」という気持ちはどついたらなくなるのかを聞くこと、十七歳の少女は「居場所があって、誰かが認めてくれたら」と明かしている。

BONDの橋ジュン代表は「少女らの気持ちを受け止める場所が必要。安全と思える人にどつつなげるかが課題」と強調した。

10~20代の女性「話を聞いてほしい」 救い求め「死にたい」投稿

女性らが寄せた主な意見

- ・誰かに存在を認めてほしい (23歳)
- ・「死にたい」と、なかなか口に出せない。SNSなら言える (23歳)
- ・死にたい気持ちを持っている人と分かり合いたい (19歳)
- ・つぶやくことで、落ち着く (17歳)
- ・共感を得られるだけで、一人じゃないと思えた (22歳)

「存在認めて」 寂しさ切実



生きづらさを抱える少女を支援する「BONDプロジェクト」の橋シユン代表＝東京都千代田区

神奈川県座間市で9人の遺体が見つかった事件を境に、生きづらさを抱え「死にたい」とつぶやく心情に導くと、NPO法人「BONDプロジェクト」(事務所・東京)が若い女性を対象としたアンケートに取り組んでいる。「誰かに助けてほしい」「存在を認めて」。女性たちの回答からは、切実な寂しさが浮かび上がる。

座間事件受け NPOが女性の心情調査

BONDプロジェクトは、渋谷や新宿などの繁華街をさまよる少女らの悩みを聞き、メールや電話での相談を受け付けている。アンケートは、相談してきた当時10〜20代の女性約千人を対象。11月中旬に質問状をメールで送り、これまでに100人近くから回答を得た。

ツイッターなどで自殺願望を示唆した女性らが犠牲となった座間市の事件。アンケートでも、回答者の半数以上に合衆交流サイト(SNS)で自殺願望をつぶやいた経験があった。

なぜSNSで「死にたい」とつぶやくのか。「同じ死にたい気持ちの人と分かり合いたい、みたいな感じ」(19歳)、「つぶやく瞬間に誰かに話を聞いてもらいたい」(21歳)など、場所や共感を求める回答が並ぶ。

「リアルだと死にたいなんて言っちゃいけない」「(SNSは)自分の聞きたらしてもいい場所だから」との記述も。「誰かに届いて返償が来ないか、少し期待している」と聞くとつながりを求める声もあった。

居場所 共感 つながり 求める声

自殺願望発露者(27)は、発露者について「実際に死にたいと思っていなはいなかった」と偽装プロジェクトの橋シユン代表(46)は「殺れた」とい、という気持ちを「死にたい」と表現する若い子も多い。表向きは学校や仕事に行き、友達もいる普通の子たち」と強調する。

ただ何者かの23歳の女性は「死にたい気持ちは消えない。誰も必要としてくれないから。私の事も殺してほしいって思った」。橋さんは、虐待やいじめなど深刻な問題を抱えているケースはあると指摘。回答の中には同じ境遇の人を集めて話をする(19歳)、「役割や存在意義が見いだせたら(つらさが)緩和される」(24歳)など、対応の手掛かりになるような記述があった。

SNSへの自殺願望の書き込み規制を求める動きには「吐き出すことで何とか命を保っている人もいる」(28歳)、「ネットのつながりをすべて否定しないで」といった訴えもあった。橋さんは「規制は必要だが、その内容は当事者の声を聞いて考えほしい。安心して「死にたい」とつぶやく、まともな大人とつながれる場をつくるのが理想」と語る。

特集ワイド

「特集ワイド」へご意見、ご感想を tyukan@mainichi.co.jp フォクス 03-3212-0279

BOZDの「死にたい」救済活動に「死にたい」の被害者も参加

「死にたい」気持ち分かって

神奈川県座間市のアパートから9人の遺体が見つかった事件は「死にたい」とソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)に投稿された若い女性らが犠牲となった。同じように生きづらさを抱える女性を助ねると「私も心を許していたかも」。被害者たちは犯罪と隣り合わせに生きている。【取材例】

午後8時。座間市のアパートの部屋に、泣き声があふく。取材記者は、数人集まる。SNSで「死にたい」と投稿された被害者の手元には、被害者の写真が貼られた。中には「死にたい」と投稿した女性の名前が、SNSで公開された。中には「死にたい」と投稿した女性の名前が、SNSで公開された。中には「死にたい」と投稿した女性の名前が、SNSで公開された。

「死にたい」気持ち分かって、SNSで「死にたい」と投稿する女性が増えている。SNSで「死にたい」と投稿する女性が増えている。SNSで「死にたい」と投稿する女性が増えている。SNSで「死にたい」と投稿する女性が増えている。

午後8時。座間市のアパートの部屋に、泣き声があふく。取材記者は、数人集まる。SNSで「死にたい」と投稿された被害者の手元には、被害者の写真が貼られた。中には「死にたい」と投稿した女性の名前が、SNSで公開された。

「死にたい」の被害者も参加。座間市のアパートで発見された9人の遺体。写真：朝日新聞



SOS電話 月100本 座間事件 欲しかったのはきっと「共感」

約1000人以上が被害者となり、100人以上が自殺した。座間事件は、SNSで「死にたい」と投稿した女性が増えている。SNSで「死にたい」と投稿した女性が増えている。SNSで「死にたい」と投稿した女性が増えている。

街の片隅で「私を見つけて」

座間事件の片隅で、私を見つけて。座間事件の片隅で、私を見つけて。座間事件の片隅で、私を見つけて。座間事件の片隅で、私を見つけて。

「死にたい」気持ち分かって、SNSで「死にたい」と投稿する女性が増えている。SNSで「死にたい」と投稿する女性が増えている。SNSで「死にたい」と投稿する女性が増えている。

「死にたい」気持ち分かって、SNSで「死にたい」と投稿する女性が増えている。SNSで「死にたい」と投稿する女性が増えている。SNSで「死にたい」と投稿する女性が増えている。

厚生労働省・経済産業省・文部科学省・総務省・法務省・内閣府・警視庁
SNS関連企業・NPO法人等 が集まり会議

平成29年11月14日 自殺防止対策PT会議 若者の自殺対策について意見聴取～座間市の事案を受けて～
平成29年12月12日 自殺対策に係る事業者・NPO法人等の打合せ
平成29年12月19日 座間市における事件の再発防止に関する関係閣僚会議
平成30年 4月20日 座間市における事件の再発防止に関する関係省庁会議

SNS上の違法情報については、警察による取締まりの他、警視庁の委託により、
インターネット・ホットラインセンターが、警察への通報、サイト管理者等への削除依頼を行っているが、
自殺に関する書き込みへの対応は、インターネット・ホットラインセンターの業務の**対象外**。



人を自殺に誘引・勧誘する情報等について、新たにインターネット・ホットラインセンターへの業務委託の**対象とし**、サイト管理者等への削除依頼を実施。
(平成30年1月～)

- ⇒ SNS等に対応した相談窓口への誘導の強化
- ⇒ SNS等を活用した相談対応の強化
- ⇒ 若者の居場所づくりの支援等の強化

2018年3月 厚生労働省自殺防止対策事業として「SNS相談事業」施行

① LINE相談の強化 ② ネットパトロールの実施

- 「相談」のハードルを下げる
- ハイリスク者の早期発見・早期介入

bondLINE 相談 の特色

被害に遭われた女性たちが求めていたのは医療、カウンセリングなどの専門機関とは別の、近い世代からの共感してほしい気持ち、承認欲求などを一旦受け止めるネット上での場所が必要なのではとbondでは考えた。行政的なサポートのアドバイスやそこから繋がる実働的な支援はベテランのコアスタッフやスーパーバイザーが引き継ぎ行う事で、LINEから電話、面談等の直接支援に繋げ、伴走型の支援を進めていきたい。

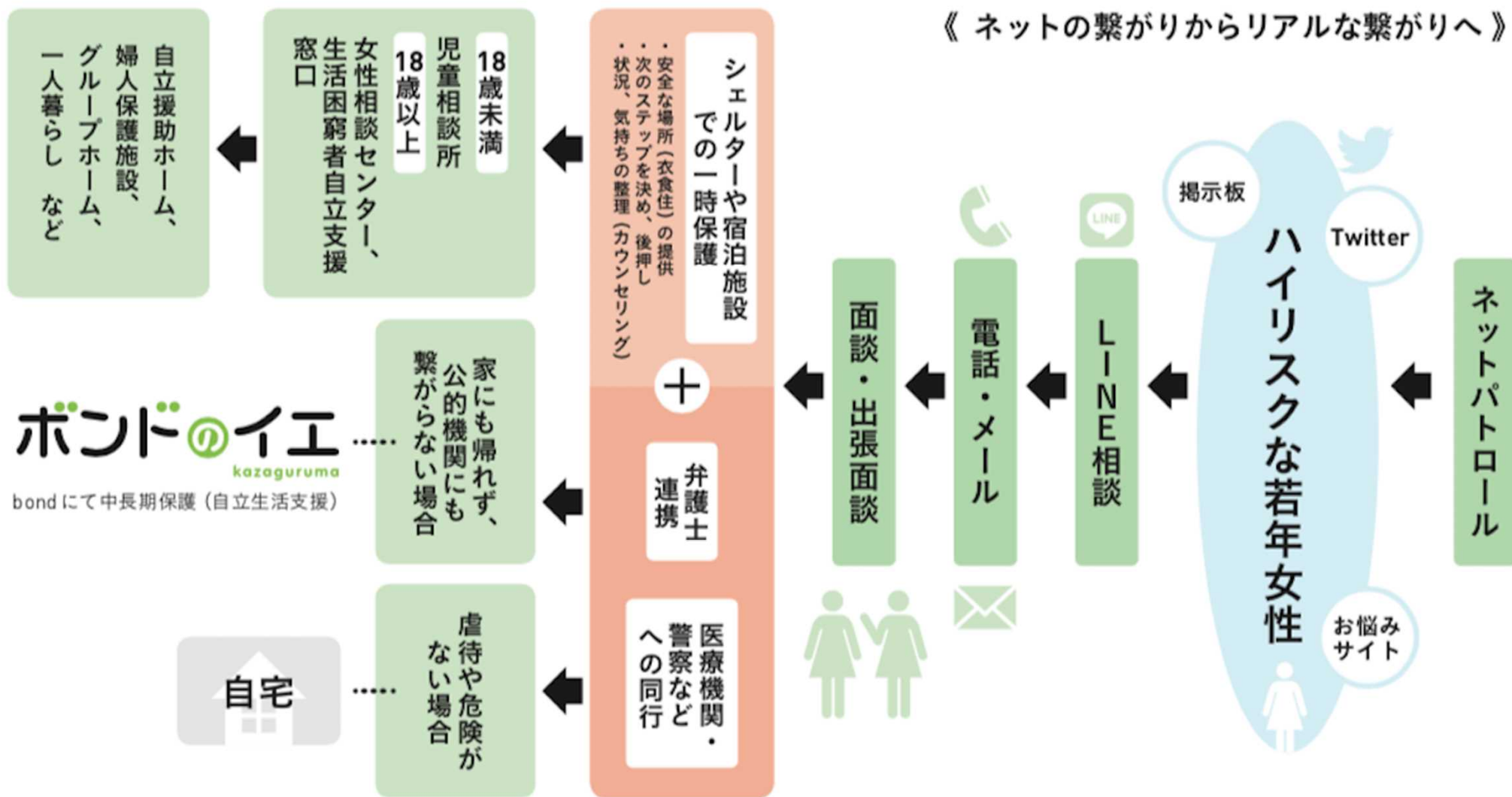
👉 LINE相談・ネットパトロール担当者は、同世代の女性スタッフ中心

- ・「共感力」を重視
- ・気軽かつ早いレスポンス
- ・コアスタッフが管理、フォロー（その後の支援に繋げる）

👉 LINE相談だけで完結しない

- ・LINE相談からリアルな繋がり、必要な支援へ繋げる

《 ネットの繋がりからリアルな繋がりへ 》



- 2020年4月7日

- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「緊急事態宣言」発令。

- 外出自粛・休業要請により、「ステイホーム」のかけ声の下、多くの人が自宅で過ごすことを余儀なくされた。



- BONDプロジェクトの相談にも・・・

- 「コロナで、、、」という相談が増えていった。

- “コロナでもっと大変な状況になってしまった”

- “家が安全ではない、安心できる場所ではない” という状況の子からの相談も多く届いた。

- 全国から声は届くが、出張面談ができない

- このような状況下で、遠方に住む子に会いに行くことが困難に。



- 大変な状況を、声を聞かせてもらいたい・・・⇒ 緊急調査を実施！！

10代20代女性における 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響についてのアンケート調査



• 目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛等による10代20代の生きづらさを抱えている女の子たちが受けた影響について調査し、実態を把握することで、今後の対策や支援に生かせるよう、社会に発信していくことを目的として実施した。

• 対象者

BONDプロジェクトの公式相談LINEに友達登録している若年女性（過去にBONDプロジェクトにLINE相談をした人や相談に至らないが関心を持ってLINE登録をしている者）。

• 実施方法

BONDプロジェクトのLINEに登録している若年女性にアンケートフォームを送付し回答を収集した。

① 2020年6月16日配信 9,501人 ② 2020年6月23日配信 9,593人

• 回答数 950人

• 実施期間 令和2年6月16日～令和2年6月29日

アンケート調査内容（全6項目）



- Q1** あなたの年齢を教えてください。
- Q2** あなたの職業を教えてください。
- Q3** あなたが住んでいる場所を教えてください。
- Q4** 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛や休業要請の影響で困ったことについてお聞きします。
この期間に回数が増えたなど、困っていた項目があれば選んでください。（複数回答可）

① 家族・おうちのこと

- ア、(家族から)暴言を言われる
- イ、(家族から)イライラをぶつけられる
- ウ、(家族から)叩く、蹴る、引っ張られる、物を投げつけられる
- エ、(家族から)体をさわられたり、裸をジロジロ見られる
- オ、家事や育児でストレスが大きく、子どもにあたってしまった
- カ、夫、同居人などからDV被害（暴力・制限）があった
- キ、上記以外の家族関係の問題があった
- ク、困ったことはなかった

② 体・心のこと

- ア、眠れない
- イ、やる気がおきない
- ウ、体に力が入らない
- エ、食べる元気がなくなった
- オ、心配（不安）なことが増えた
- カ、消えたい、死にたいと思った
- キ、ひとりぼっち（孤独）だと感じた
- ク、自分を傷つけることが増えた
- ケ、その他の健康に関する問題があった
- コ、困ったことはなかった

③ ネット、SNS（スマートフォン）のこと

- ア、知らない人とやりとりをした
- イ、SNS、ネットで傷つくことを言われた（された）
- ウ、怖いことを言われたり、だまされた
- エ、自分の写真を知らない人に送ってしまった
- オ、住所や学校名などを教えてしまった
- カ、その他のネット、SNSに関する問題があった
- キ、困ったことはなかった

④ お金、くらしのこと

- ア、お金がない、お金に困った
- イ、電気、ガス、水道、電話などが止まった
- ウ、食べるものがなかった
- エ、仕事が減った、なくなった
- オ、奨学金などの返済ができなくなった
- カ、借金をした
- キ、パパ活、援助交際をした
- ク、ひととき融資などでお金を得た
- ケ、いつも行く所が休みで、行く場所がなかった
- コ、家を離れるなどの今後の見通しが立たなくなった
- サ、その他の生活上の困難があった
- シ、困ったことはなかった

⑤ 学校のこと

- ア、友達、いじめ、不登校などの悩みが減った
- イ、休校が長くなって不安になった
- ウ、先生に相談したくてもできなかった
- エ、友達、先生に会えなくてさみしかった
- オ、給食がなくなって昼ごはんが食べられなかった
- カ、勉強や宿題（課題）に困った
- キ、久しぶりに学校が始まることになって心配になった
- ク、その他の学校に関係する問題があった
- ケ、困ったことはなかった

⑥ 望まない妊娠をした、したかもしれない不安がありましたか？その相手は誰ですか？

- ア、交際相手
- イ、夫
- ウ、父親、兄、弟、その他親族
- エ、援助交際、パパ活、泊めてくれた人
- オ、その他知人
- カ、知らない人
- キ、なかった

Q5 外出自粛・休業要請期間中に、どんな助けがほしいと思いましたか？

当てはまる項目があれば選択し、その他にもあれば自由記述をしてください。

ア、気軽に相談できて、住んでる場所の近くで相談できる支援者がいるといい。そうした人と繋がりたい。

イ、家が危険だったり、精神的に限界がきている時に、家以外で安全に過ごせる場所がほしい。

ウ、学校が休校になったとしても、保健室やカウンセラーなど相談できる体制は作ってほしい。

エ、金銭的に困っても、収入減の証明ができず支援を受けることができなかつたので、証明できるようにしてほしい。

オ、金銭的支援を受けることができるなら、（コロナ感染症予防と拡大防止の為に）仕事を休みたい。

（自由記述あり）

Q6 外出自粛・休業要請期間が終わり、今後半年から1年くらい先を考えると、どんな不安がありますか？

また、どんな助けがほしいと思いますか？

（自由記述）

調查結果

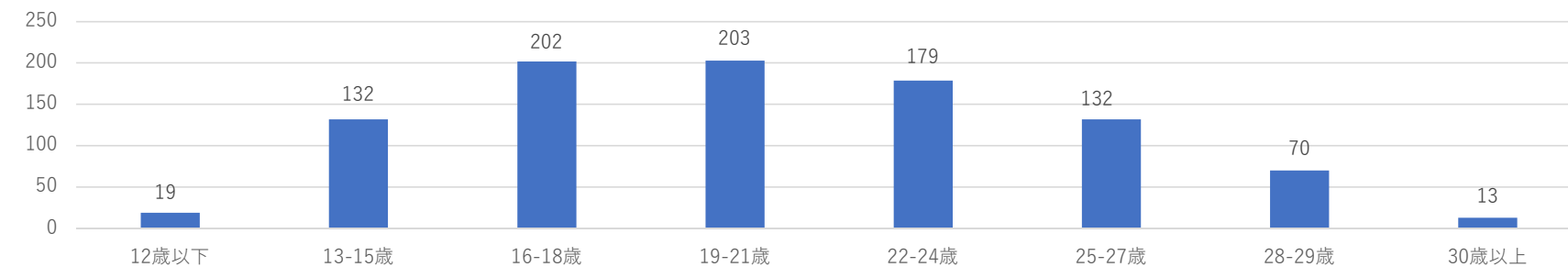


1. 回答者の年齢と職業

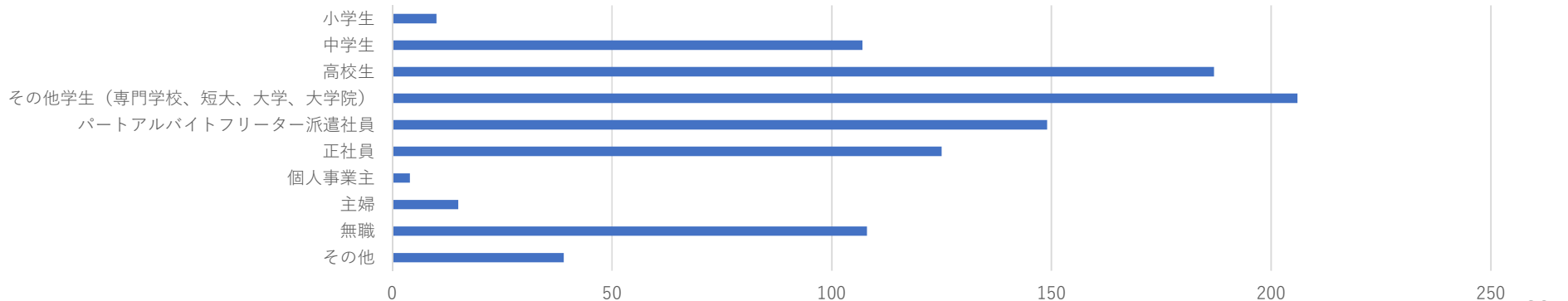
○年齢は、13歳から27歳までが90%。

○学生・生徒が54%（510人）。その他学生（専門学校、短大、大学、大学院）が最も多く22%で、次に多い高校生が20%。中学生が11%。

○学生・生徒以外が46%（440人）。その中ではパート・アルバイト・フリーター・派遣社員が34%、正社員が28%、無職25%。



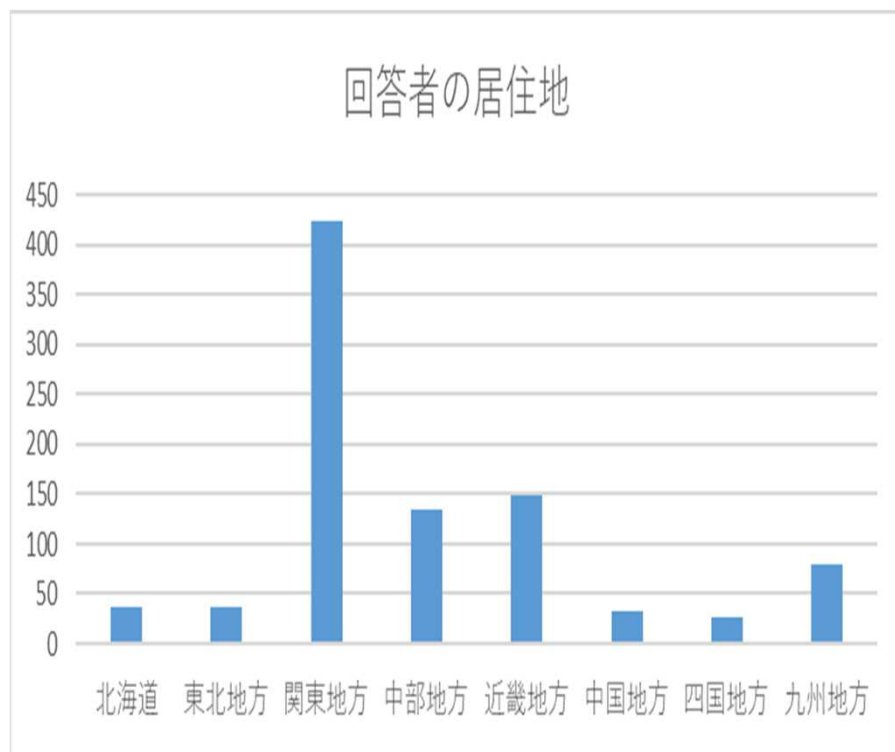
職業



2. 回答者の居住地

○関東地方が最も多く45%、近畿地方16%、中部地方14%、九州地方8%、東北地方7%、北海道4%、中国地方3%、四国地方3%

○新型コロナウイルス感染者の多い上位10都道府県は63%（950人中601人）。

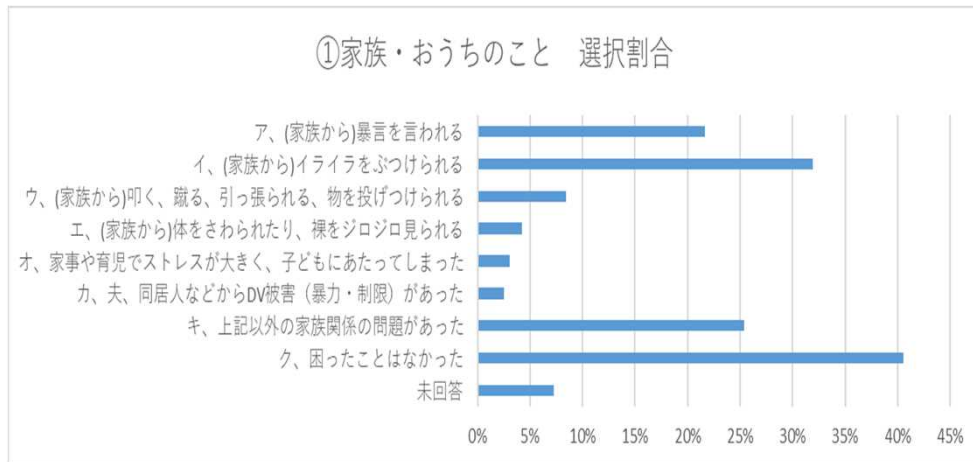


北海道	北海道																			
	36	36																		
東北地方	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県														
	36	6	9	23	7	7	15													
関東地方	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県													
	424	13	13	19	68	52	153	106												
中部地方	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県											
	135	15	5	4	6	5	19	10	24	47										
近畿地方	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県													
	149	17	14	21	54	27	13	3												
中国地方	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県															
	33	4	5	9	14	1														
四国地方	徳島県	香川県	愛媛県	高知県																
	26	1	6	14	5															
九州地方	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県												
	80	37	2	8	8	3	2	12	8											

(注) 黄色いセルの都道府県は新型コロナウイルス感染症の感染者の多い上位10都道府県。

3. 困ったこと①：家族・おうちのこと

- 家族・おうちのことについては、56%が何らから困ったことがあった。
- 特に、家族からイライラをぶつけられたり、暴言が多い。
- 職業別では、小中高生、無職では特に家族の問題を抱えた人が多い。
- 低年齢層では暴力や性的ないやがらせも多い。主婦も育児、DVなどの問題を抱えた人が多い。

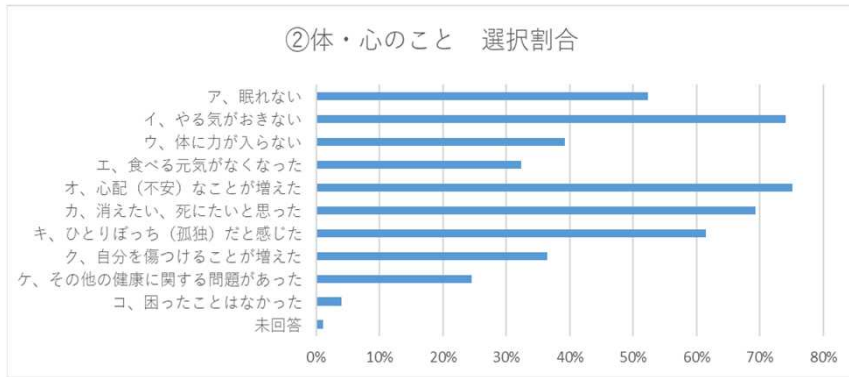


(注) 右の年齢別、職業別の集計表について、全回答者の選択割合(選択者/全回答者)よりも高い割合を薄いオレンジ、5%~9%高い割合を濃いオレンジ、10%以上高い割合を最も濃いオレンジのセルとした。同様に、低い割合を薄い青、5%~9%高い割合を濃い青、10%以上高い割合を最も濃い青のセルとした。これ以降の全ての年齢別、職業別の集計表について、同様の処理をした。

Q4 ① 家族・おうちのこと	全職業合計		1小学生		2中学生		3高校生		4その他学生 (専門学 校、短大、 大学、大学 院)		5パートフル バイトフ リーター派 遣社員		6正社員		7個人事業主		8主婦		9無職		10その他	
	選択数	選択者/全 回答者	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
ア、(家族から)暴言を言われる	206	22%	4	40%	23	21%	54	29%	46	22%	26	17%	10	8%	2	50%	2	13%	30	28%	9	23%
イ、(家族から)イライラをぶつけられる	303	32%	4	40%	36	34%	77	41%	70	34%	44	30%	20	16%	2	50%	2	13%	39	36%	9	23%
ウ、(家族から)叩く、蹴る、引っ張られる、物を投げつけられる	80	8%	3	30%	14	13%	23	12%	17	8%	8	5%	3	2%	0	0%	1	7%	5	5%	6	15%
エ、(家族から)体をさわられたり、裸をジロジロ見られる	40	4%	3	30%	6	6%	12	6%	6	3%	4	3%	1	1%	1	25%	0	0%	4	4%	3	8%
オ、家事や育児でストレスが大きく、子どもにあたってしまった	29	3%	0	0%	0	0%	4	2%	2	1%	10	7%	1	1%	0	0%	8	53%	2	2%	2	5%
カ、夫、同居人などからDV被害(暴力・制限)があった	24	3%	0	0%	0	0%	3	2%	5	2%	6	4%	2	2%	1	25%	1	7%	2	2%	4	10%
キ、上記以外の家族関係の問題があった	241	25%	2	20%	24	22%	40	21%	57	28%	38	26%	29	23%	1	25%	6	40%	35	32%	9	23%
ク、困ったことはなかった	385	41%	5	50%	48	45%	69	37%	87	42%	53	36%	64	51%	2	50%	1	7%	38	35%	18	46%
未回答	69	7%	0	0%	6	6%	13	7%	10	5%	13	9%	16	13%	0	0%	1	7%	9	8%	1	3%
合計	1377		21		157		295		300		202		146		9		22		164		61	

3. 困ったこと②：体・心のこと

- 体・心のことについては、96%が何らかの困ったことがあった。
- 「消えたい、死にたいと思った」が69%、「自分を傷つけることが増えた」が36%と深刻な様子。
- 感染流行地の方がやや深刻。職業別では、中高生、無職、パート等で特に問題を抱えた人が多い。

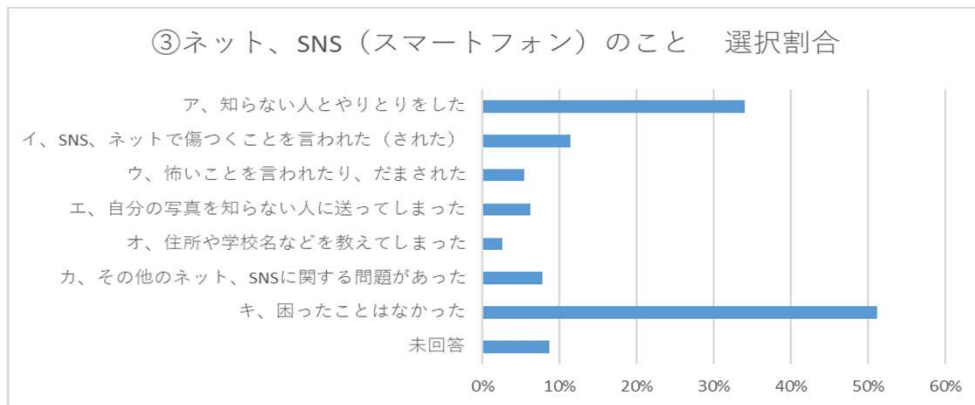


Q4 ② 体・心のこと	全職業合計	1小学生		2中学生		3高校生		4その他学生 (専門学 校、短大、 大学、大学 院)		5パートフル タイム ライター派 遣社員		6正社員		7個人事業主		8主婦		9無職		10その他		
		選択数	選択者/全 回答者	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
ア、眠れない	497	52%	5	50%	56	52%	90	48%	114	55%	85	57%	55	44%	2	50%	3	20%	65	60%	22	56%
イ、やる気がおきない	704	74%	3	30%	87	81%	156	83%	152	74%	105	70%	79	63%	2	50%	11	73%	79	73%	30	77%
ウ、体に力が入らない	373	39%	0	0%	48	45%	78	42%	72	35%	62	42%	47	38%	2	50%	5	33%	44	41%	15	38%
エ、食べる元気がなくなった	307	32%	2	20%	40	37%	65	35%	61	30%	48	32%	32	26%	2	50%	4	27%	40	37%	13	33%
オ、心配(不安)なことが増えた	714	75%	5	50%	76	71%	149	80%	157	76%	113	76%	90	72%	3	75%	10	67%	85	79%	26	67%
カ、消えたい、死にたいと思った	658	69%	6	60%	65	61%	141	75%	134	65%	111	74%	79	63%	2	50%	9	60%	85	79%	26	67%
キ、ひとりぼっち(孤独)だと感じた	584	61%	4	40%	63	59%	116	62%	127	62%	94	63%	74	59%	2	50%	5	33%	76	70%	23	59%
ク、自分を傷つけることが増えた	346	36%	5	50%	50	47%	87	47%	63	31%	50	34%	28	22%	3	75%	3	20%	44	41%	13	33%
ケ、その他の健康に関する問題があった	233	25%	3	30%	17	16%	43	23%	55	27%	43	29%	28	22%	0	0%	4	27%	28	26%	12	31%
コ、困ったことはなかった	38	4%	1	10%	4	4%	5	3%	4	2%	5	3%	11	9%	1	25%	0	0%	1	1%	6	15%
未回答	10	1%	0	0%	1	1%	1	1%	2	1%	1	1%	2	2%	0	0%	1	7%	2	2%	0	0%
合計	4464		34		507		981		941		717		525		19		55		549		186	

Q4 ② 体・心のこと	流行都道府県	選択/回答者数	流行都道府県以外	選択/回答者数	
ア、眠れない		332	55%	165	47%
イ、やる気がおきない		452	75%	252	72%
ウ、体に力が入らない		248	41%	125	36%
エ、食べる元気がなくなった		210	35%	97	28%
オ、心配(不安)なことが増えた		457	76%	257	74%
カ、消えたい、死にたいと思った		414	69%	244	70%
キ、ひとりぼっち(孤独)だと感じた		380	63%	204	58%
ク、自分を傷つけることが増えた		220	37%	126	36%
ケ、その他の健康に関する問題があった		152	25%	81	23%
コ、困ったことはなかった		21	3%	17	5%
未回答		6	1%	4	1%
合計		2892	100%	1572	100%

3. 困ったこと③：ネット、SNS（スマートフォン）のこと

- ネット、SNSについては、44%が何らかの困ったことがあった。
- 感染流行地の方が、やや問題を抱えてた人が多い。
- 職業別では、小中高生と無職の人で問題を抱えた人がやや多い。



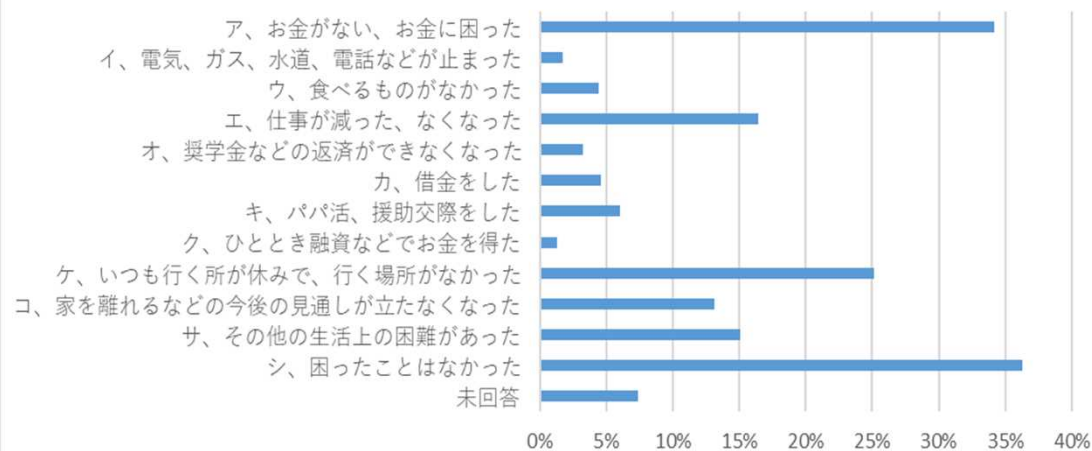
Q4 ③ ネット、SNS（スマートフォン）のこと	流行都道府県	選択/回答者数	流行都道府県以外	選択/回答者数
ア、知らない人とやりとりをした	211	35%	112	32%
イ、SNS、ネットで傷つくことを言われた (された)	73	12%	36	10%
ウ、怖いことを言われたり、だまされた	30	5%	22	6%
エ、自分の写真を知らない人に送ってしまった	37	6%	22	6%
オ、住所や学校名などを教えてしまった	18	3%	7	2%
カ、その他のネット、SNSに関する問題があった	53	9%	21	6%
キ、困ったことはなかった	291	48%	195	56%
未回答	56	9%	27	8%
合計	769	100%	442	100%

Q4 ③ ネット、SNS（スマートフォン）のこと	全職業合計	1小学生		2中学生		3高校生		4その他学生 (専門学校、短大、大学、大学院)		5パートアルバイト、ライター派遣社員		6正社員		7個人事業主		8主婦		9無職		10その他		
		選択数	選択者/全回答者	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
ア、知らない人とやりとりをした	323	34%	4	40%	44	41%	70	42%	68	33%	41	28%	32	26%	1	25%	2	13%	44	41%	8	21%
イ、SNS、ネットで傷つくことを言われた (された)	109	11%	2	20%	17	16%	20	11%	12	6%	22	15%	11	9%	1	25%	0	0%	19	18%	5	13%
ウ、怖いことを言われたり、だまされた	52	5%	1	10%	8	7%	7	4%	8	4%	11	7%	5	4%	0	0%	0	0%	7	6%	5	13%
エ、自分の写真を知らない人に送ってしまった	59	6%	0	0%	7	7%	18	10%	10	5%	8	5%	4	3%	0	0%	0	0%	9	8%	3	8%
オ、住所や学校名などを教えてしまった	25	3%	0	0%	5	5%	6	3%	2	1%	4	3%	1	1%	0	0%	0	0%	7	6%	0	0%
カ、その他のネット、SNSに関する問題があった	74	8%	1	10%	7	7%	8	4%	15	7%	21	14%	6	5%	0	0%	1	7%	10	9%	5	13%
キ、困ったことはなかった	486	51%	3	30%	52	49%	88	47%	117	57%	72	48%	76	61%	3	75%	11	73%	38	35%	26	67%
未回答	83	9%	2	20%	9	8%	15	8%	10	5%	21	14%	11	9%	0	0%	1	7%	11	10%	3	8%
合計	1211		13		149		241		242		200		146		5		15		145		55	

3. 困ったこと④：お金、くらしのこと

- 何らかの困ったことがあった人が61%あった。
- 感染流行地（感染者数上位10都道府県）はそれ以外の地域より困ったことのなかった人が8%少ない。
- 具体的な困りごとは、お金がない、仕事が減った・なくなった、行く場所がなかった、が多い。
- 職業別では、学生以外の人で困った人が多い。特に、無職とパート等の人は困った人が多い。

④お金、くらしのこと 選択割合



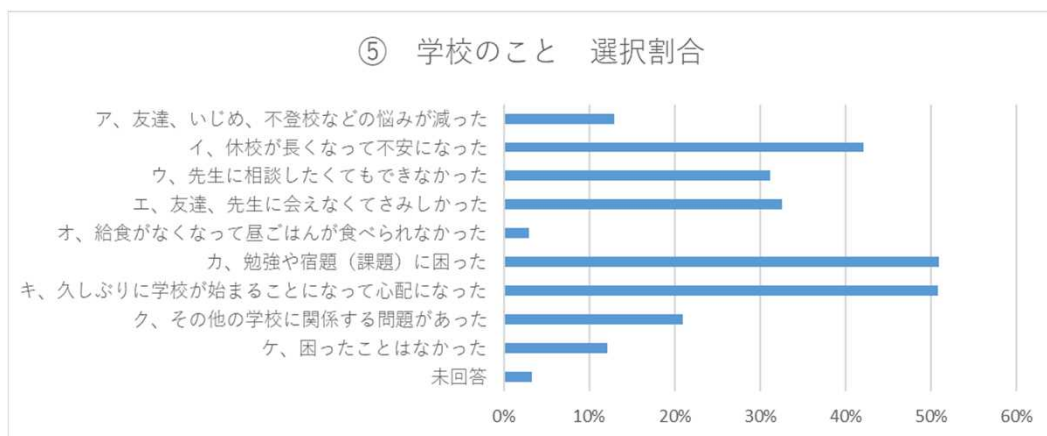
Q4 ④ お金、くらしのこと	流行都道府県	選択/回答者数	流行都道府県以外	選択/回答者数
ア、お金がない、お金に困った	212	35%	113	32%
イ、電気、ガス、水道、電話などが止まった	9	1%	7	2%
ウ、食べるものがなかった	30	5%	12	3%
エ、仕事が減った、なくなった	109	18%	47	13%
オ、奨学金などの返済ができなくなった	15	2%	16	5%
カ、借金をした	21	3%	23	7%
キ、パパ活、援助交際をした	42	7%	15	4%
ク、ひととき融資などでお金を得た	5	1%	7	2%
ケ、いつも行く所が休みで、行く場所がなかった	171	28%	68	19%
コ、家を離れるなどの今後の見通しが立たなくなった	75	12%	50	14%
サ、その他の生活上の困難があった	99	16%	44	13%
シ、困ったことはなかった	201	33%	144	41%
未回答	43	7%	27	8%
合計	1032	100%	573	100%

3. 困ったこと④：お金、くらしのこと（続き）

Q4 ④ お金、くらしのこと	全職業合計		1小学生		2中学生		3高校生		4その他学生 (専門学 校、短大、 大学、大学 院)		5パートアル バイトフ リーター派 遣社員		6正社員		7個人事業主		8主婦		9無職		10その他	
	選択数	選択者/全 回答者	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
ア、お金がない、お金の困った	325	34%	2	20%	12	11%	38	20%	76	37%	80	54%	30	24%	1	25%	7	47%	63	58%	16	41%
イ、電気、ガス、水道、電話などが止まった	16	2%	1	10%	0	0%	1	1%	0	0%	8	5%	2	2%	0	0%	0	0%	3	3%	1	3%
ウ、食べるものがなかった	42	4%	1	10%	1	1%	4	2%	5	2%	15	10%	3	2%	2	50%	0	0%	9	8%	2	5%
エ、仕事が減った、なくなった	156	16%	0	0%	1	1%	6	3%	38	18%	55	37%	13	10%	1	25%	5	33%	29	27%	8	21%
オ、奨学金などの返済ができなくなった	31	3%	0	0%	0	0%	1	1%	5	2%	12	8%	4	3%	0	0%	0	0%	9	8%	0	0%
カ、借金をした	44	5%	0	0%	0	0%	0	0%	6	3%	14	9%	9	7%	0	0%	1	7%	10	9%	4	10%
キ、パパ活、援助交際をした	57	6%	0	0%	3	3%	8	4%	11	5%	16	11%	3	2%	1	25%	0	0%	8	7%	7	18%
ク、ひととき融資などでお金を得た	12	1%	0	0%	0	0%	1	1%	2	1%	3	2%	4	3%	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%
ケ、いつも行く所が休みで、行く場所がなかった	239	25%	1	10%	5	5%	41	22%	60	29%	51	34%	36	29%	3	75%	5	33%	25	23%	12	31%
コ、家を離れるなどの今後の見通しが立たなくなった	125	13%	0	0%	5	5%	9	5%	25	12%	27	18%	19	15%	1	25%	3	20%	30	28%	6	15%
サ、その他の生活上の困難があった	143	15%	0	0%	4	4%	10	5%	27	13%	38	26%	20	16%	1	25%	3	20%	32	30%	8	21%
シ、困ったことはなかった	345	36%	8	80%	66	62%	88	47%	73	35%	27	18%	45	36%	1	25%	3	20%	21	19%	13	33%
未回答	70	7%	0	0%	18	17%	24	13%	12	6%	4	3%	8	6%	0	0%	1	7%	2	2%	1	3%
合計	1605		13		115		231		340		350		196		11		28		241		80	

3. 困ったこと⑤：学校のこと

- 学生のうち、何らかの困ったことがあった人が87%いた。感染流行地の方が困っている人が多い。
- 学業の心配、学校再開の心配、長い休校の不安、友達・先生に会えないさみしさ、先生に相談できないが多い。一方、「友達、いじめ、不登校などの悩みが減った」を選択した人が13%いた。



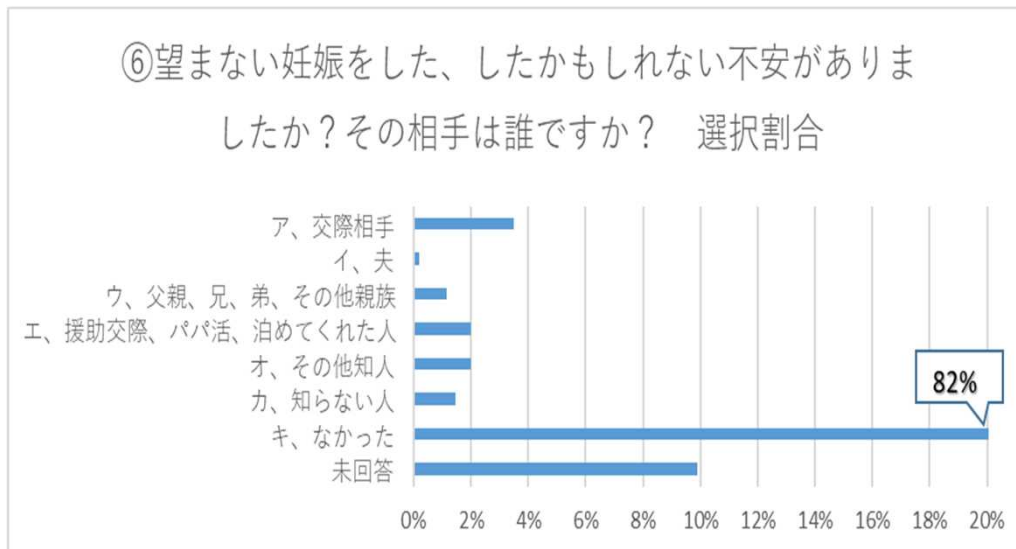
Q4 ⑤ 学校のこと	流行都道府県	選択/回答者数	流行都道府県以外	選択/回答者数
ア、友達、いじめ、不登校などの悩みが減った	47	8%	23	7%
イ、休校が長くなって不安になった	143	24%	78	22%
ウ、先生に相談したくてもできなかった	103	17%	60	17%
エ、友達、先生に会えなくてさみしかった	122	20%	48	14%
オ、給食がなくなって昼ごはんが食べられなかった	12	2%	4	1%
カ、勉強や宿題（課題）に困った	161	27%	104	30%
キ、久しぶりに学校が始まることになって心配になった	162	27%	104	30%
ク、その他の学校に関係する問題があった	80	13%	39	11%
ケ、困ったことはなかった	215	36%	144	41%
未回答	98	16%	42	12%
合計	1143	100%	646	100%

Q4 ⑤ 学校のこと	学生合計		1小学生		2中学生		3高校生		4その他学生 (専門学校、短大、大学、大学院)	
	選択数	選択者/全回答者	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
ア、友達、いじめ、不登校などの悩みが減った	66	13%	2	20%	17	16%	29	16%	18	9%
イ、休校が長くなって不安になった	215	42%	5	50%	40	37%	92	49%	78	38%
ウ、先生に相談したくてもできなかった	159	31%	5	50%	30	28%	70	37%	54	26%
エ、友達、先生に会えなくてさみしかった	166	33%	4	40%	35	33%	62	33%	65	32%
オ、給食がなくなって昼ごはんが食べられなかった	15	3%	2	20%	6	6%	5	3%	2	1%
カ、勉強や宿題（課題）に困った	260	51%	6	60%	62	58%	103	55%	89	43%
キ、久しぶりに学校が始まることになって心配になった	259	51%	6	60%	70	65%	119	64%	64	31%
ク、その他の学校に関係する問題があった	107	21%	5	50%	22	21%	31	17%	49	24%
ケ、困ったことはなかった	62	12%	2	20%	7	7%	22	12%	31	15%
未回答	17	3%	0	0%	5	5%	4	2%	8	4%
合計	1326		37		294		537		458	

(注) 上の職業別の表は学生のみ。

3. 困ったこと⑥：望まない妊娠（予期せぬ妊娠）

- 望まない妊娠をした、したかもしれない不安があった人が9%いた。
- 相手は、「交際相手」が3%、「その他知人」、「援助交際、パパ活、泊めてくれた人」が2%、「知らない人」、「父親、兄、弟、その他親族」が1%。
- 感染流行地の方がやや該当者が多い。
- 職業別では無職とパート等の人は、「その他知人」、「援助交際、パパ活、泊めてくれた人」、「知らない人」を選択した人がやや多い。



Q4 ⑥ 望まない妊娠をした、したかもしれない不安がありましたか？	流行都道府県	選択/回答者数	流行都道府県以外	選択/回答者数
ア、交際相手	21	3%	12	3%
イ、夫	1	0%	1	0%
ウ、父親、兄、弟、その他親族	8	1%	3	1%
エ、援助交際、パパ活、泊めてくれた人	16	3%	3	1%
オ、その他知人	12	2%	7	2%
カ、知らない人	11	2%	3	1%
キ、なかった	489	81%	294	84%
未回答	62	10%	32	9%
合計	620	100%	355	100%

3. 困ったこと⑥：望まない妊娠（予期せぬ妊娠）（続き）

Q4 ⑥ 望まない妊娠をした、したかもしれない不安がありましたか？	全職業合計		1小学生		2中学生		3高校生		4その他学生 (専門学校、短大、 大学、大学院)		5パートアル バイトフ リーター派 遣社員		6正社員		7個人事業主		8主婦		9無職		10その他	
	選択数	選択者/全 回答者	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
ア、交際相手	33	3%	1	10%	1	1%	5	3%	5	2%	6	4%	8	6%	3	75%	0	0%	3	3%	1	3%
イ、夫	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
ウ、父親、兄、弟、その他親族	11	1%	1	10%	1	1%	3	2%	3	1%	1	1%	0	0%	1	25%	0	0%	0	0%	1	3%
エ、援助交際、パパ活、泊めてくれた人	19	2%	0	0%	2	2%	3	2%	3	1%	4	3%	0	0%	1	25%	0	0%	5	5%	1	3%
オ、その他知人	19	2%	0	0%	0	0%	4	2%	2	1%	6	4%	3	2%	0	0%	0	0%	3	3%	1	3%
カ、知らない人	14	1%	0	0%	1	1%	0	0%	3	1%	4	3%	0	0%	0	0%	0	0%	5	5%	1	3%
キ、なかった	783	82%	8	80%	87	81%	163	87%	182	88%	120	81%	95	76%	1	25%	13	87%	83	77%	31	79%
未回答	94	10%	1	10%	17	16%	11	6%	12	6%	16	11%	20	16%	0	0%	2	13%	12	11%	3	8%
合計	975		11		109		189		210		159		126		6		15		111		39	

4. 外出自粛・休業要請期間中にほしかった支援

○気軽に相談できる場所を求める人が67%、家以外の安全な場所を求める人が46%、休校中の学校の相談体制を求める人が26%（学生の42%）、金銭的支援があれば仕事を休みたいが18%、収入証明なしに金銭的支援を求める人が14%。

外出自粛・休業要請期間中に、どんな助けがほしいと思いましたか？	件数	選択割合
ア、気軽に相談できて、住んでる場所の近くで相談できる支援者がいるといい。そうした人と繋がりたい。	632	67%
イ、家が危険だったり、精神的に限界がきている時に、家以外で安全に過ごせる場所がほしい。	435	46%
ウ、学校が休校になったとしても、保健室やカウンセラーなど相談できる体制は作ってほしい。	248	26%
エ、金銭的に困っても、収入減の証明ができず支援を受けることができなかったのが、証明できるようにしてほしい。	133	14%
オ、金銭的支援を受けることができるなら、（コロナ感染症予防と拡大防止の為に）仕事を休みたい。	172	18%
未回答	114	12%

Q5 選択肢回答	流行都道府県	選択/回答者数	流行都道府県以外	選択/回答者数
ア、気軽に相談できて、住んでる場所の近くで相談できる支援者がいるといい。そうした人と繋がりたい。	406	36%	226	36%
イ、家が危険だったり、精神的に限界がきている時に、家以外で安全に過ごせる場所がほしい。	280	25%	155	25%
ウ、学校が休校になったとしても、保健室やカウンセラーなど相談できる体制は作ってほしい。	154	14%	94	15%
エ、金銭的に困っても、収入減の証明ができず支援を受けることができなかったのが、証明できるようにしてほしい。	93	8%	40	6%
オ、金銭的支援を受けることができるなら、（コロナ感染症予防と拡大防止の為に）仕事を休みたい。	110	10%	62	10%
未回答	70	6%	44	7%
合計	1113	100%	621	100%

Q5 選択肢回答	全職業合計	1小学生		2中学生		3高校生		4その他学生 (専門学 校、短大、 大学、大学 院)		5パートアル バイトフ リーター派 遣社員		6正社員		7個人事業主		8主婦		9無職		10その他		
		選択数	選択者/全 回答者	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
ア、気軽に相談できて、住んでる場所の近くで相談できる支援者がいるといい。そうした人と繋がりたい。	632	67%	4	40%	52	49%	137	73%	139	67%	108	72%	82	66%	2	50%	8	53%	74	69%	26	67%
イ、家が危険だったり、精神的に限界がきている時に、家以外で安全に過ごせる場所がほしい。	435	46%	6	60%	48	45%	90	48%	98	48%	72	48%	40	32%	0	0%	4	27%	61	56%	16	41%
ウ、学校が休校になったとしても、保健室やカウンセラーなど相談できる体制は作ってほしい。	248	26%	5	50%	39	36%	86	46%	83	40%	14	9%	6	5%	1	25%	0	0%	8	7%	6	15%
エ、金銭的に困っても、収入減の証明ができず支援を受けることができなかったのが、証明できるようにしてほしい。	133	14%	0	0%	4	4%	10	5%	25	12%	40	27%	15	12%	1	25%	6	40%	24	22%	8	21%
オ、金銭的支援を受けることができるなら、（コロナ感染症予防と拡大防止の為に）仕事を休みたい。	172	18%	1	10%	4	4%	9	5%	31	15%	54	36%	39	31%	1	25%	4	27%	19	18%	10	26%
未回答	114	12%	3	30%	21	20%	19	10%	17	8%	13	9%	15	12%	1	25%	4	27%	13	12%	8	21%
合計	1734		19		168		351		393		301		197		6		26		199		74	

BONDプロジェクトの新たな取り組み

① オンライン面談の定期的な開催



② ネットパトロールの強化

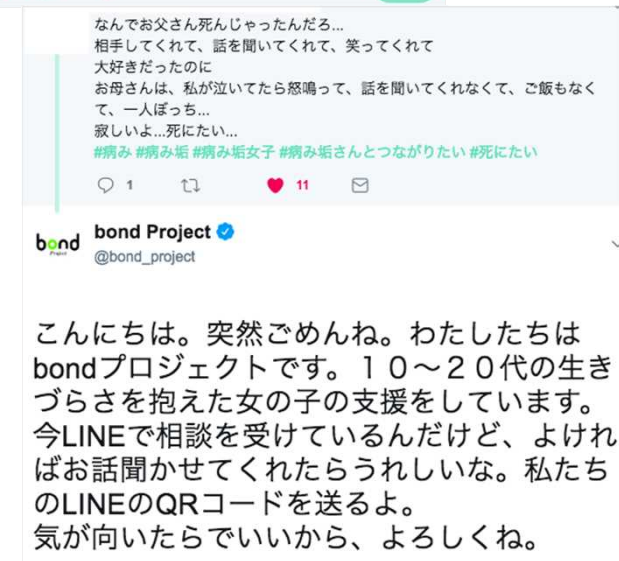
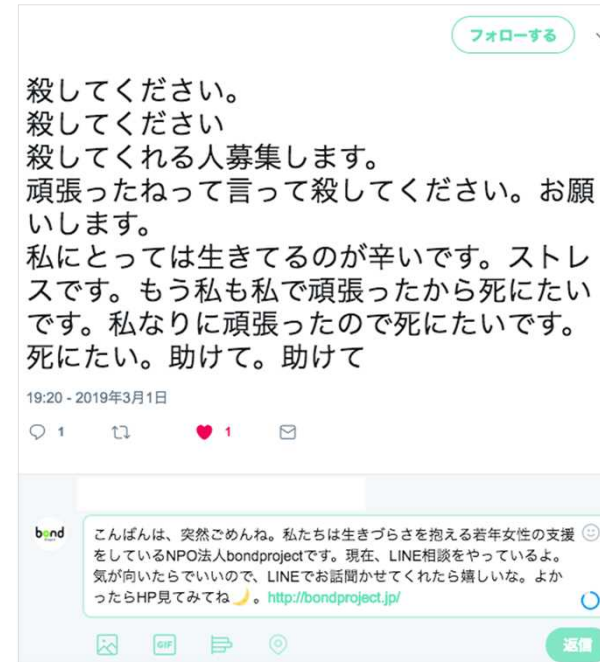
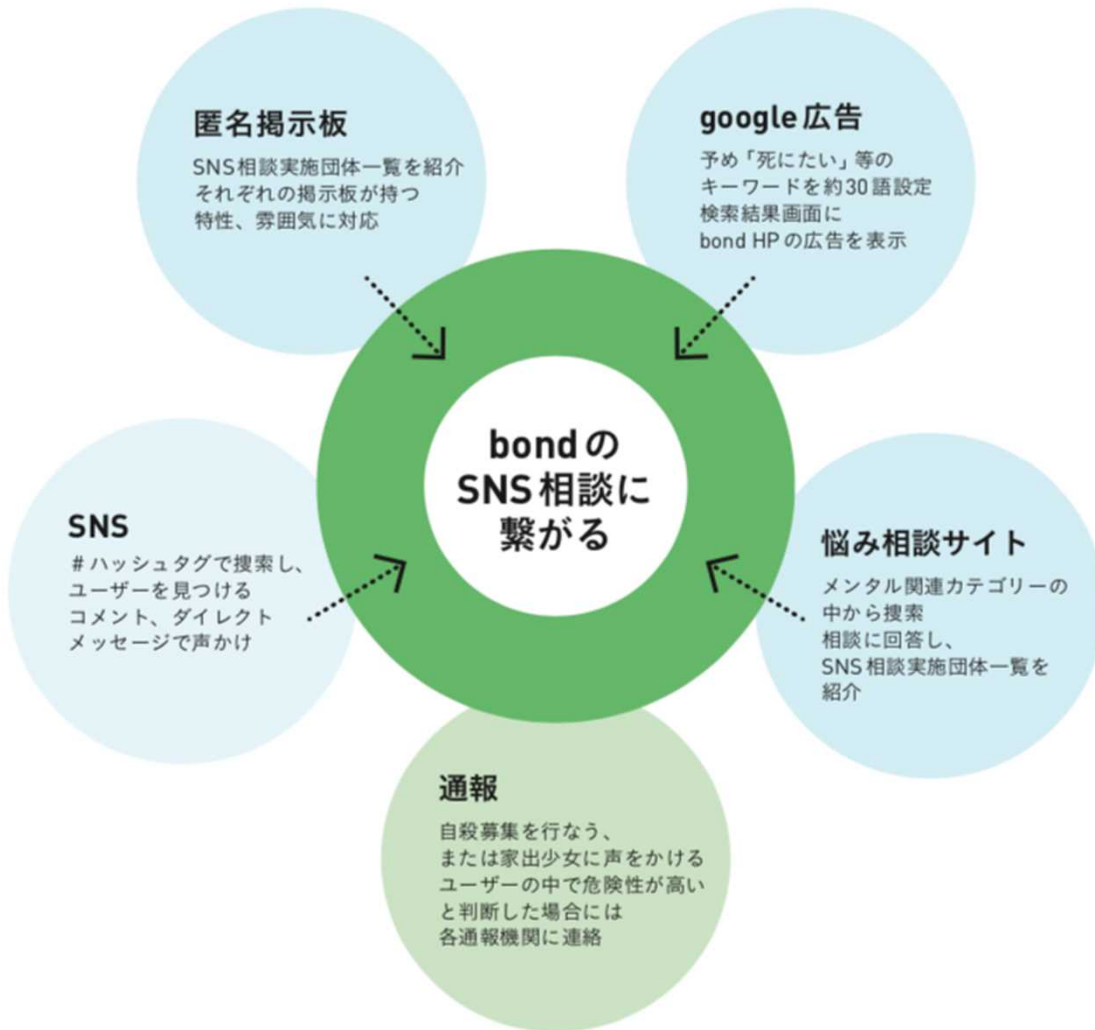
緊急事態宣言後のSNS上での変化

通報先である機関が、コロナの影響からかほぼ機能しなくなっており、
通報しても加害性のあるアカウントが削除されない時期が続いた。
(もしくは、削除ペースが非常に遅くなってしまっていた。)



- ▶ 凍結の優先順位を考慮し、より確実に凍結されそうなアカウントを厳選して通報を行った。
- ▶ 加害性のあるアカウントに繋がる前に、安全な相談先や居場所を知ってもらいたいと思い、ネット上でのアウトリーチ活動を強化。

bondが行うネットパトロールの図



生きてる意味ってあるのかなあ
みんなは何が楽しくて生きてるの？
#死にたい

助けて下さい 帰る場
所がない
#家出少女 17歳です

学校に行くのが嫌になりました。
(前から行けてなかったけど笑)
お話聞いてくれる方、誰かいま
せんか？
#不登校 #いじめ #辛い
#メンヘラ #行きたくない

死にたい。もう無理。疲れた。
なんで私ってこんなにダメな
んだろ。もう生きてる価値な
んでないよ。こうして書いて
いる間にも涙が出てる。辛い。
誰も私をわかってくれない。
親は信用できない。消えたい。
楽になりたい。学校なんて行
きたくないよ。#死にたい

私のことしてほしいです
やってくれる人はDM来てください
#ころして #しにたい

学校で悪口言われたり
物隠されるし。家
帰っても部屋荒らさ
れてるし。もう辛い。
#いじめ

ネット上に漂う声

生きてる価値あんのかな、うち
#死にたい

やめられない
どうしたら止めれるんだ
#病み垢 #リスカ

何をしても迷惑かけてる気がする。
誰にも迷惑かけたくないのに…。
生きていてごめんなさい…。
#病み垢 #ごめんなさい
#死にたい

誰か私を殺してくれる人いな
い？もう人生に疲れた。もう死
にたい。生きててなんかいいこ
とある？
先生や友達は「生きてたらい
いことあるよ」って言うんだけど
本当かな？いいことあるのか
な？私は何もなかった。まあも
ういいや。人生終わらせます。
誰か私を殺して下さい
#殺して

家族居ないお金ない生き
る意味ない死ぬ勇気ない
#殺して下さい
#自殺募集

苦しい。怖い。死にたい。
悲しい。助けて。
誰か話を聞いてほしい。
#病み #助けて
#無理 #死

食べて吐いて下剤地獄。お金なく
なるよ。いつか窃盗しそう。その
前に死んでしまいたい。
#過食嘔吐

私が死ねば
今起きてる全ての事も何も
考えなくていいのに
#死にたい

2020年1月～12月
ネット上でのアウトリーチ活動から
LINE相談に繋がった人数

➡ 1,579人

※プライバシーに配慮し、一部改変

LINE相談件数

●2017年度 3月

対応件数(延べ) 3,975

相談人数(実数) 708

【相談時間】 2018年3月:毎日8時間
(17:00-21:00 / 22:00-26:00)

●2018年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対応件数(延べ)	1,096	1,229	996	921	1,038	768	685	701	757	815	872	1,293	11,171件
相談人数(実数)	364	499	443	410	435	365	365	362	354	375	415	598	2,707人

【相談時間】 2018年4月-2019年2月:週5日 4時間(月水木金土 18:30-22:30)
2019年3月:週5日 6時間(月水木金土 16:00-19:00 / 19:30-22:30)

●2019年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対応件数(延べ)	1,600	1,795	1,947	2,030	2,167	1,885	1,682	1,475	1,558	1,683	1,702	1,572	21,096件
相談人数(実数)	733	801	840	1,005	1,032	968	771	676	702	785	682	610	5,657人

【相談時間】 2019年4月-2020年3月:週5日 6時間(月水木金土 16:00-19:00 / 19:30-22:30)

●2020年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
対応件数(延べ)	1,583	1,600	1,664	2,012	1,767	1,715	1,614	1,362	1,430
相談人数(実数)	639	664	797	987	834	817	830	707	658

【相談時間】 2020年4月-2021年3月:週5日(月水木金土 14:00-18:00/18:30-22:30)



4月

希死念慮を抱く女性に、性行為あるいは殺人目的で近づこうとしている事がツイート内容から伺え、直接会ってしまうと犯罪に発展する恐れがある。① 危険度が高いと思われるアカウントに対する通報、② #家出少女助けます系で怪しい仕事を斡旋、怪しい融資を進めてくるアカウントの通報、③ 自殺願望が明確にあり、実行を宣言しているアカウントの報告。

4月

#家出少女助けます系で怪しい仕事を斡旋、怪しい融資を進めてくるアカウントの通報を4月から開始。

#お金に困ってます #副業紹介 女性
#ひととき融資

(「ひととき融資」とは男女間で肉体関係を持つことを前提とした金銭融資のこと)

5月

#お金に困ってます #お金困ってます、
#ひととき融資 #お金貸してください
→ツイートが表示されなくなった。

Twitter側での一律規制の可能性あり。

#裏バイト #闇バイトと同じ扱いになった可能性あり。

6月

6/1から学校再開ということで、全体的に悩みを抱える学生が増加した印象。「学校行きたくない」でキーワード検索するのは人多すぎてとても追えないため、#学校行きたくない #不登校などでアウトリーチ。